

国語

(中学校第1学年)

注 意

- 1 「始め」の合図があるまで、中の問題を見てはいけません。
- 2 下の欄に、組、出席番号、名前を書きなさい。
- 3 「始め」の合図があったら、別に配られている解答用紙に、組、出席番号、名前を書き、「A問題（基本）」から始めなさい。
- 4 問題用紙は、全部で9ページあります。
 「A問題（基本）」は、6ページで、問題は まであります。
 「B問題（活用）」は、3ページで、問題は だけです。
- 5 問題に取り組む時間のめやすは、「A問題」が25分、「B問題」が20分です。
 時間に気をつけて解きなさい。
 早く終わったら、先に進んで解いても、もとにもどって解いてもかまいません。
- 6 答えは、解答用紙の決められた場所に、はっきりと書きなさい。
- 7 印刷がはっきりしなくて読めないときは、だまって手をあげなさい。
 問題の内容などの質問には答えられません。

	問題番号	時 間
A問題（基本）	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	25分
B問題（活用）	<input type="checkbox"/>	20分
合 計		45分

1年	組	番	名前
----	---	---	----

A 問題

(二十五分)

一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「にじが出てるよ。」

「にじだ、にじだ。」

思わず振り返って、子供たちがまっすぐに指さす北の空を見上げると、ああ、確かににじだ。赤、黄、緑、太いクレヨンでひと息に引いたような線が、灰色の空をあざやかにまたいでいる。上端はおぼろに空中に消え、下はビルと森のかげにかくれて、見えているのはほんの一部だ。

少年は、自分でも思いがけない衝動に駆られて、^ア辺りを見回した。

——高い所がないか、あれが全部見える所が。

あった、すぐ目の前に、国道を横切る歩道橋が。少年はためらわず、そちらへ駆けた。いつもは、階段の上り下りを面倒がって、ついで利用したことのない歩道橋だった。

階段を二段ずつ駆け上って、車の流れの真上に立つと、にじはまさに、森とビルのとぎれた所、国道の真正面から立ち上っている。手すりにつかまって、少し背のびしながら身を乗り出すと、このはなやかな橋の始めから終わりまでを、ひと目で見わたすことができた。

さっきの子供たちが、少年の^イ意図を察したらしく、あとから続いて駆け上ってきて、思い思いの歓声をあげている。

少年は、大きく息を^ウスツタ。この前、にじを見たのはいつだったろう。この子たちくらいの小さいころ——いや、もっとずっと前のような気がする。もしかしたら自分は今、生まれて^エにじを見た

のではないかと、少年は思った。

目の下を、車の列が絶え間なく流れてゆく。かさをすぼめた人たちが、上も下も見えないで自分の道を急ぐ。だれも、^カ頭上の出来事に気づかない。あるいは気がついていても、なんとも思わないのか。だれ一人、立ち止まって、この大空のドラマに眺めているものはない。

少年はふと、初めて、自分のことを恵まれたものに感じた。

「おうい、何してんだあ。」

下から呼ばれて、身を乗り出すと、仲たがいはしたはずの友達が、かばんを振り回しながら、あきれたようにこちらを見上げています。

「おうい、にじが見えるぞう。上がってこいよう。」

少年も大声で呼び返す。友達は、少年の指さす方をひと目見て、さっき少年が感じたのと同じ衝動に^ク駆られたように走り出した。歩道の端にけつまずいて、かばんをほうり出し、危うく転びかける。

「早く早く。」

少年は笑いながら、体をずらして、にじを正面に見る場所を空け、友達が上ってくるのを^コ足踏みしながら待った。

(杉みき子「にじの見える橋」による)

問一 文章中の——線^アの漢字は読みがなを書き、——線^イのカタカナは漢字に直して書きなさい。必要な場合には、送りがなをつけなさい。

問二 文章中に——線^ウ「意図」とありますが、「図」の筆順で五画目はどこですか。解答欄の漢字の当てはまる箇所をぬりつぶしなさい。

問三 文章中の ② に当てはまる最も適当な言葉を、文章中から探し、三字で抜き出して書きなさい。

問四 文章中に 線③ 「頭上の出来事」とありますが、この「出来事」とは、どのようなことを表していますか。主語と述語を使って、解答欄の「こと」に続く形で答えなさい。

問五 文章中の 線④ 「駆」の読み方がわからない場合、漢字辞典を用いてどのように調べればよいですか。次の（ ）に当てはまる言葉を漢字で書き、文を完成させなさい。

漢字にふくまれる部首「うまへん」をヒントに調べていく「部首索引」と、十四画という画数をヒントに調べていく「部首索引」の二種類の調べ方が考えられます。

問六 文章中に 線⑤ 「足踏みしながら」とありますが、このときの少年の気持ちを、十五字以上、二十五字以内で説明しなさい。

次のページに、 ㊦ の問題があります。

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

中国の古い寓話に、「人間万事、塞翁が馬」というのがある。国境近くに住む塞翁とよばれる老人の馬が逃げて、国境を越えてしまった。近所の人が気の毒がった。すると、老人は、「これがかえって幸いになるかもしれない。」と言った。

数か月したら、逃げた馬が隣の国のよい馬を連れて、ひよっこり戻ってきた。近所の人がみな「おめでどう。」と言うのに、老人は、「何か悪いことがあるかもしれない。」と言う。

間もなく息子が馬から落ちて足をくじいて、足が不自由になってしまった。近所の人たちは大いに同情したが、老人は、「いや、またいいことがあるかもしれない。」と言う。

一年ほどしたら、隣国との間に①戦争が起こった。近所の若い人たちは兵隊として駆り出され、たいていは死んでしまった。息子は足が不自由だったために、戦場に行かずにすんだ。

この話を、現代に当てはめてみたらどうなるか。

例えば、つい近ごろまで、日本の経済の高度成長がずっと続くのを喜ぶのがあたりまえであった。②、その次に来たのは、⑦コウガイや自然破壊の重大化であった。米の大豊作が毎年毎年続いたのは、大いに喜ぶべきことのはずであった。②、その次に来たのは、古米、古々米の累積であった。それらの間の因果関係——あるいは、著しい相関関係は、今となってはだれの目にも明らかである。

しかし、事前にそれを察知していた人がどれだけあったか。④対策を用意していた人がどれだけあったか。私はよく知らない。(A)ただ、そういう意見に耳を傾ける人が多くなかったことは確かである。

昔の人の大多数は、同じような生活がいつまでも続くと、ほとんど無意識的に信じていたろうと思う。実際、変化のテンポの非常に遅い時代に生きていた人たちにとっては、③そう思い込むのが当然であったろう。(B)

世の中の変化の速い現代に生きる人たちは、④もう少し違う考え方に、知らず知らずの間になっている。(C)同じ状態がそのまま続

くというよりは、むしろ、状態の変化してゆく方向が同じだろうと思ひ込みやすくなっているのではないか。例えば、経済成長がどこまでも続くと思う。(D)しかし、そういう一方向的傾向が、限りなく続くはずは、本来なかったのである。

(湯川秀樹「少数意見」による)

※ 寓話：動物などにたくして語る物語。イソップ物語が有名。

※ 経済の高度成長：一九五〇年代中ごろの、日本の急速な経済成長。

問一 文章中の——線⑦のカタカナは漢字に直し、——線①の漢字は読みがなを書きなさい。

問二 文章中の——線①「戦争」と同じ組み合わせの熟語を、次のア〜エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 青空
- イ 不足
- ウ 道路
- エ 善悪

問三 文章中の②に共通して入る言葉として最も適当なものを、次のア〜エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア しかし
- イ だから
- ウ つまり
- エ ところで

問四 文章中の——線③「そう」が指す部分を、文章中から十五字で抜き出して答えなさい。

問五 文章中の——線④「もう少し違う考え方」とは、どのような考え方ですか。文章中の言葉を用いて、二十五字以上、三十五字以内で説明しなさい。

問六 次の——線①の中の一文は、文章中の(A)〜(D)のどこに入りますか。最も適当な箇所を一つ選び、記号で答えなさい。

それに伴って、生活もますます便利になり、豊かになり続けると思う。

【三】 福山さんたちの学級では、自分の好きな言葉について、スピーチをすることになりました。次の【福山さんの発表】を読んで、後の問いに答えなさい。

【福山さんの発表】

「ぼくは子どものころから、目標をもって努力するのは好きなんです。だってその努力が結果として出るのはいじやないですか。」

『イチロー 進化する天才の軌跡』

佐藤 健 著 講談社 火の鳥人物文庫4 二〇〇〇年

みなさんは、この言葉を聞いてどう思いましたか？

これは、元メジャーリーガーのイチロー選手の言葉です。

わたしは、「目標をもつて努力するのは好きなんです。だってその努力が結果として出るのはいじやないですか。」という言葉に感動しました。自分で目標を決めて、からこそ、あのような素晴らしい選手になることができたのだと思います。

わたしは将来、プロ野球選手になりたいと思っています。小学生のころは町の少年野球チームに入っていました。何のための練習なのかを考えながら練習をしたことはありませんでした。

わたしは、中学校でも野球部に入るつもりです。これからは、自分の夢をかなえるため、また、努力を結果として残すためにも、イチロー選手のように一つ一つの練習に目標や目的をもって、人一倍努力し続けたいと思います。

※ イチロー選手：日本やアメリカで活躍し、二〇一九年三月に引退したプロ野球選手。

※ メジャーリーガー：アメリカのプロ野球の最上位にあるリーグの選手。

問一 【福山さんの発表】のに、次の（条件）に従って適当な言葉を入れ、文を完成させなさい。

（条件）

- ・「目標」という語を使い、十五字以上、二十五字以内で書くこと。
- ・「からこそ、」に続く形で書くこと。

問二 【福山さんの発表】の中で、一番伝えなかったこととして、最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 将来、有名なメジャーリーガーになるため、一日も休まず練習に取り組みたい。
- イ 自分の夢をかなえたり、結果を残したりするため、目標や目的をもち努力を続けたい。
- ウ 素晴らしい選手になるために、中学校でも野球部に入って人一倍練習したい。
- エ 夢をかなえるため、少年野球チームで学んだことを生かして努力を続けたい。

問三 【福山さんの発表】を聞いていた友達が、福山さんの発表のよかったところを伝えました。福山さんの発表のよかったところとして、最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 福山さんの発表は、聞き手に問いかけるように自分の体験を紹介しているところがよい。
- イ 福山さんの発表は、紹介した言葉と自分の体験とを結びつけているところがよい。
- ウ 福山さんの発表は、自分の好きな言葉についての説明を中心に話しているところがよい。
- エ 福山さんの発表は、先に結論を伝えて自分の考えを説明しているところがよい。

四

山田さんは、国語の時間に、世界遺産である白神山地の環境を守ることにについて、意見文を書くことになりました。

そこで山田さんは、【資料1】【資料2】を準備しました。二つの資料と【意見文の下書き】を読んで、後の問いに答えなさい。

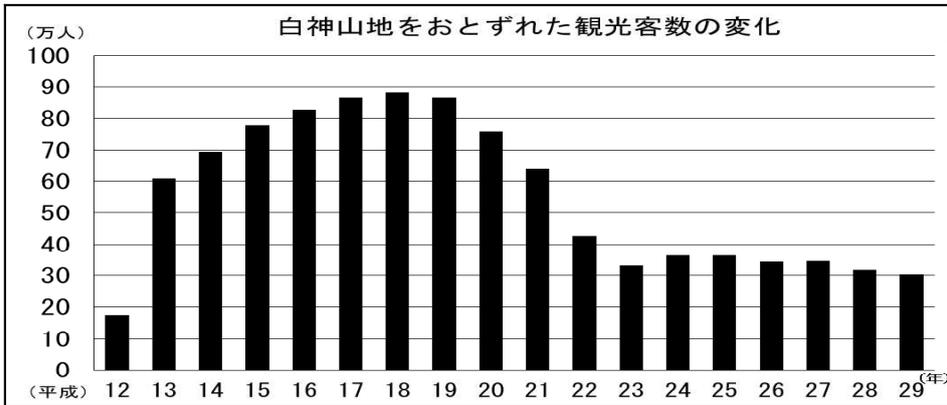
【資料1】

ブナは、かつて、日本各地に生えていましたが、木材としては価値の低い木とされていきました。そのため、日本が発展するにつれて、利用価値の高いヒバに植えかえられ、全国から急速に姿を消していきました。では、どうして白神山地だけに、広大なブナの森が残ったのでしょうか。

それは、白神山地が都市部から遠くはなれた奥地にあつて、人が入りにくい所だったからです。また、青森県や秋田県には、スギやヒバがたくさんあり、わざわざ白神山地のブナの森まで伐採する必要がなかったからです。

(斉藤宗勝「ブナの森が支える豊かな自然」による)

【資料2】



【意見文の下書き】(1)～(4)は、段落の番号である。

- ① わたしは、世界遺産の白神山地を守るためには、人が立ち入らないで、あるがままにしておくのがよいと考えます。
- ② そう考える理由は、人が立ち入らない方が自然をそのまま残せると思います。【資料1】の斉藤さんの文章にも、白神山地は「人が入りにくい所だったから」自然が残ったとあります。このことから、なるべく人の手が加わらないようにすることが大事だと思います。
- ③ いろいろな観光地でも観光客数が増えると、その観光地の自然や建造物が傷つけられるといったことが報告されています。そうだとすると、白神山地でも同様のことが言えるのではないかと思います。
- ④ このような理由から、わたしは、白神山地には立ち入らない方が、あるがままの姿を残せると考えます。

問

山田さんは【意見文の下書き】を読んで、——線部の言葉の使い方がおかしいことに気付きました。「そう考える理由は、」につながるように、正しく直して書きなさい。

問二 山田さんは、【意見文の下書き】の③の段落の理由をくわしく説明するために、【資料2】を準備しました。すると、友だちに【資料2】では、③の段落の理由をくわしく説明できないと言われました。では、山田さんはどのような資料を準備すればよいですか。最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 「観光地ごとに観光客が拾ったゴミの数と重さの変化」
- イ 「観光地ごとの自然や建造物が傷つけられた数の変化」
- ウ 「年ごとの観光客数と自然や建造物破壊数の変化」
- エ 「年ごとに観光地をおとずれた観光客数の変化」

問三 山田さんは【意見文の下書き】の③の後に、次の中の文章を書き加えることにしました。その理由として最も適当なものを、後のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

もちろん、白神山地に残る自然に直接ふれ、関心をもつことは、白神山地を守る意味でも大事です。しかし、そのために自然がこわれてしまっは、「環境を守る」といういちばん大事な目的を果たすことができません。

- ア 伝えたいことをくり返し、読み手の理解を助けるため。
- イ 自分の経験を述べ、読み手の経験と比べて考えさせるため。
- ウ 具体的な例を多く挙げ、読み手に興味をもたせるため。
- エ 違う立場からの見方を示し、意見に説得力をもたせるため。

次のページに、B問題があります。



クジラの胃から プラごみ6キロ



インドネシアの中部スラウェシ島の海沿いにマッコウクジラの死がいが流れ着きました。胃の中からは、プラスチックごみが大量に見つかり、重量はおよそ5.9キログラムでした。そのうちわけは、プラスチックカップ115個、プラスチックボトル4本、ナイロン袋、サンダル、ロープなどです。

専門家は、「残念だ。このようにクジラが死がいで発見される例は多く、①問題解決の難しさを感じる。」と話しました。



プラスチックごみ

ペットボトルや包装材、レジ袋といったプラスチックから発生するごみ。投棄されたり、埋め立て地から流出したりしたものの多くが最終的に海に到達する。

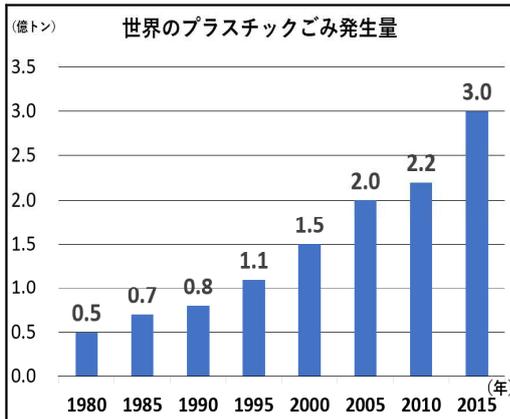
海中で生活する生き物が餌と間違えて飲みこむほか、つまらせて窒息死する原因にもなり、生態系に悪い影響が出ると心配されている。

プラごみ 年間3億トン超

世界のプラスチックごみの発生量は増え続け、年間3億トンを超えています。海や山などに流出して、漁業や観光に悪い影響を与えています。OECD（経済協力開発機構）は、年間約1兆4千億円の損害があると報告しています。

報告書によると、世界のプラスチックごみの発生量は、最も新しいデータの2015年には約3億トンに上り、左のグラフのように、1980年の約5千万トンから6倍ほど増えています。

OECDは、「プラスチックの使用量の増加や適切ではない廃棄が環境に深刻な影響をおよぼしている。」と指摘しています。使用を抑制したり、リサイクルを強化したりしていくために、レジ袋などの使い捨てをしがちなものを有料にするなどの取組も見られるようになっていきます。



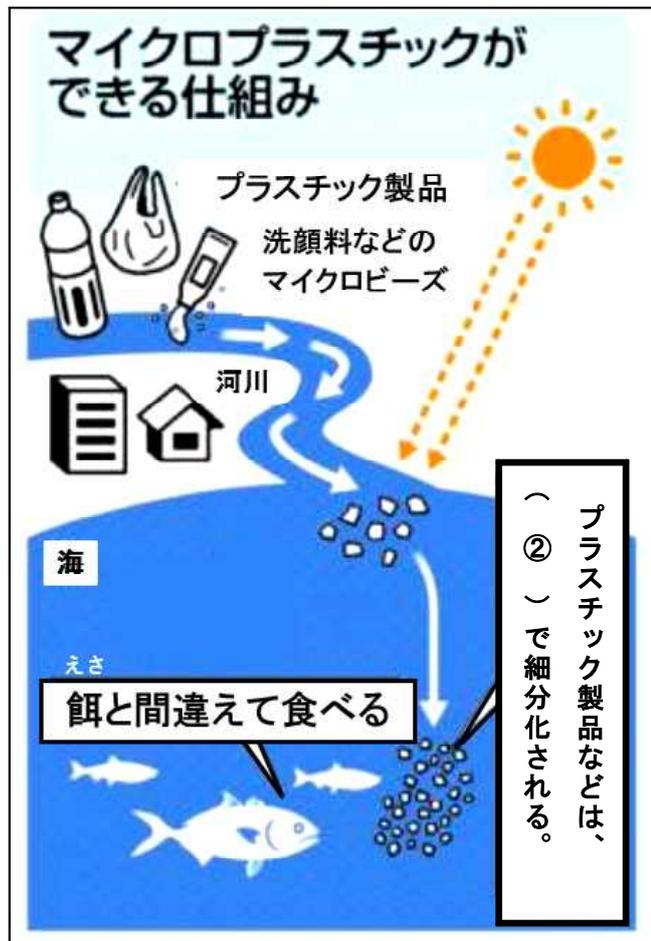
【新聞記事】

東さんは、プラスチックごみについて、新聞やインターネットで調べたことをまとめました。これらを読んで、後の問いに答えなさい。

B 問題

(二十分)

【インターネットで見つけた図】



【東さんのまとめ】

右の図にあるように、プラスチック製品や洗顔料などに含まれるマイクロビーズが川や海に流され、水中をただよう間にこわれてできる直径五ミリメートル以下の小さなプラスチックがマイクロプラスチックです。

プラスチック製品などは、水中をただよう間に太陽光に含まれるしがい線に当たることによって細かくなります。そのマイクロプラスチックを海に住む魚などが、餌と間違えて食べてしまうそうです。このことから、わたしは、海中の魚だけではなく、

③。

問一 【新聞記事】から、どのようなことがわかりますか。適当で

はないものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 世界のプラスチックごみの発生量は、1980年は2015年の六分の一ほどである。

イ 世界のプラスチックごみの発生量が増え続けることは、クジラなどの生物に悪い影響を与えている。

ウ 世界のプラスチックごみの発生量は、2005年からの十年間で、約一億トン増えている。

エ 世界のプラスチックの使用を抑制する取組は、世界中において、十分なものとなっている。

問二 【新聞記事】の——線①「問題解決」とは、どのようなこと

ですか。「こと」に続く形で十字以上、十五字以内で答えなさい。

問三 【インターネットで見つけた図】の(②)に入る言葉を、

【東さんのまとめ】から十字で抜き出して答えなさい。

問四 【新聞記事】や【インターネットで見つけた図】を見て、東

さんはどのようなことを考えたと思いますか。【東さんのまとめ】の③に当てはまる内容を、三十以上、四十以上以内で書きなさい。

問五 【新聞記事】に書かれた内容に触れて、あなたが取り組みたいと思うことを、次の（条件）に従って書きなさい。

（条件）

- ・ 八十字以上、百字以内で、二文構成で書くこと。ただし、段落は作らず、一マスめから書くこと。
- ・ 一文めは、「プラスチックごみ」と「海の生物」という二語を使って書くこと。
- ・ 二文めは、適当な接続語を用いて、一文めの内容と関連づけて、あなたが取り組みたいと思う内容を書くこと。